

授業概要

金融の世界の変化は驚くほど速く、歴史的マイナス金利、デフレ基調、いずれも今年の今頃には予想もしてなかった出来事である。一つは、最早金融の世界も日本的なもののみを論じていたのでは理解できないということである。海外の事情にもある程度通じていなくては、日本の金融を語るができなくなってしまうのである。金融論の理論的な部分や金融という現象そのものについての本質的な部分に関する講義にさせていただきたい。

授業計画

第1回	ガイダンス（授業の進め方）
第2回	バーターから銀行へ1
第3回	バーターから銀行へ2
第4回	戦後からの我が国の金融行政
第5回	金融制度の変遷
第6回	貨幣と資金仲介機関
第7回	現代日本の金融機関
第8回	現代日本の金融機関
第9回	金融機関の経営
第10回	金融市場
第11回	金融政策
第12回	金融新技術の発展
第13回	国際金融の現状:アメリカ、ヨーロッパ、アジアの金融事情
第14回	金融商品の選択
第15回	まとめ
第16回	テスト

到達目標

戦後から現在までに金融界での制度的変遷や銀行業界の社会における立場を理解すること。

履修上の注意

銀行の話に興味がある人は履修したらよいと思います。

予習復習

この授業では復習が重要となります。

評価方法

テストと出席状況から評価します。

テキスト

『消費者と金融』 関谷喜三郎・関川靖編著 慶応義塾出版会